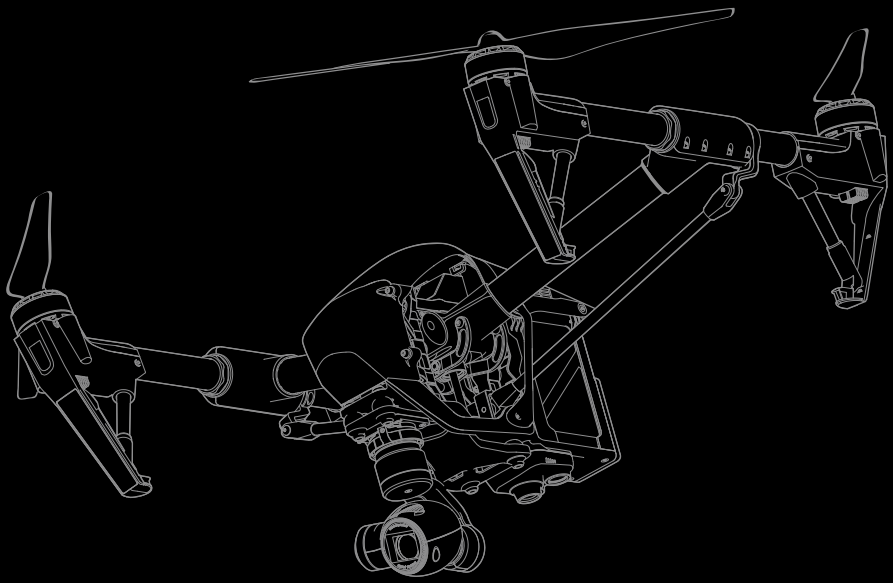
INSPIRE 1

クイックスタートマニュアル

V1.2

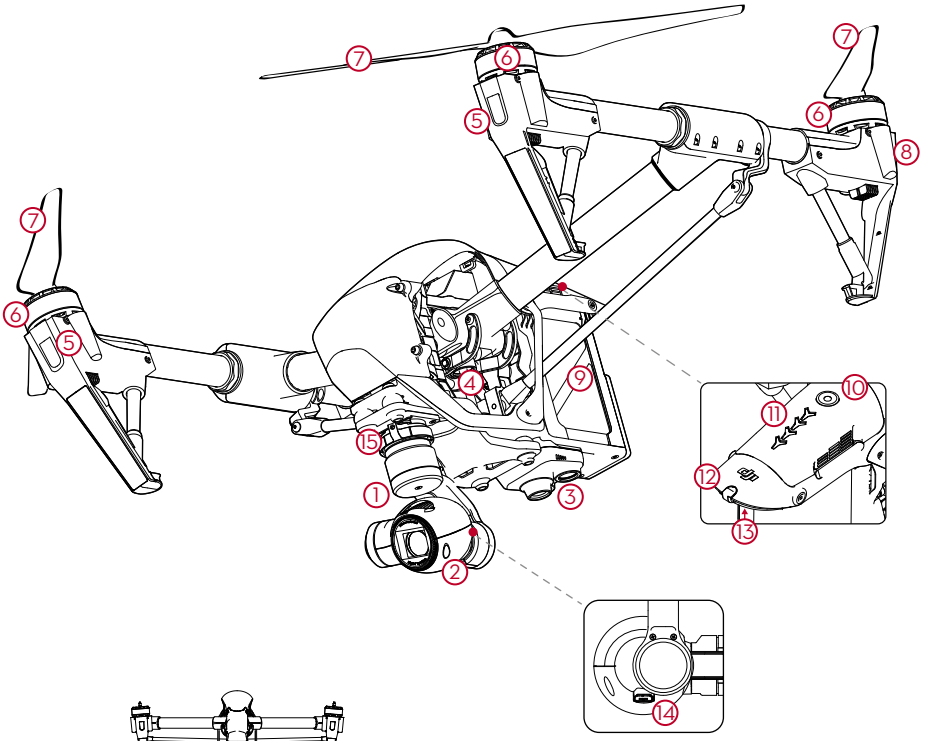


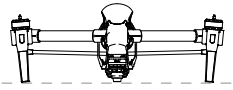
INSPIRE 1

Inspire1 は箱から取り出してすぐに飛行できるプロフェッショナル向けの動画撮影および写真撮影プラットフォームです。20mmレンズおよび3軸安定化ジンバルを搭載した機体カメラが鮮やかな12Mピクセルのスチール写真および安定した4Kビデオを撮影します。可動式のランディングスキッドがにより、カメラから360° さえぎる物のない映像撮影を可能にしました。

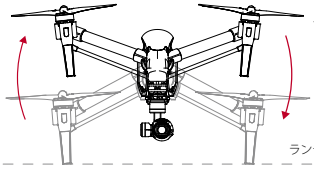
先進的なフライトコントローラーにより、Inspire 1 を屋外屋内問わず、安全で簡単に安定したフライトを実現することが出来ます。まったく新しいビジョンポジショニングシステムがGPSシグナルのない状況下でも安定したホバリングを可能にします。これまでのDJIフライトコントローラーと同様に、リモートコントロールシグナルを失った場合、または低バッテリー警告が出た場合にリターンホームを行うことができます。

Inspire 1 は22m/sの最大飛行速度*および4500mAhインテリジェントフライトバッテリーのフル充時に最大飛行時間18分* を達成しました。





トラベルモード



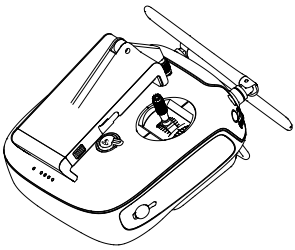
1. カメラおよびジンバル
2. カメラ Micro - SD カードスロット
3. ビジョンポジショニングシステム
4. トランスミッションメカニズム
5. フロントLED
6. モーター
7. プロペラ
8. リヤLED
9. インテリジェントフライトバッテリー
10. パワーボタン
11. バッテリーレベルインジケーター
12. 機体ステータスインジケーター
13. 機体 Micro - USBポート
14. カメラMicro - USBポート
15. ジンバルロック

*最大飛行速度および最大飛行時間は実験環境でのテスト結果に基づいています。これらの統計データはあくまで参照にすぎず、あなたの飛行環境によって異なります。

リモートコントローラー

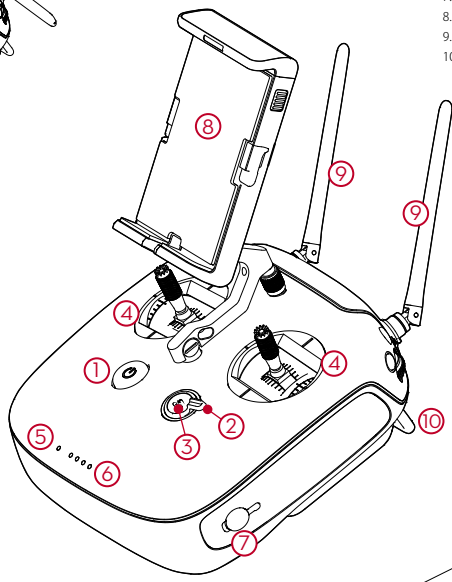
Inspire 1 リモートコントローラーの最大送信距離は2km*です。リモートコントローラーを通じて、ランディングスキッドやリターントゥーホームの起動を行う事が出来ます。また、写真撮影、映像録画、撮影写真や動画の確認、およびジンバルコントロールも行うことができます。

DJIライトブリッジベースのHDビデオダウンリンクが内蔵されており、モバイル端末でカメラからのＨＤ画像をリアルタイムで確認することができます。DJIパイロットアプリからカメラ設定の変更およびマスター／スレーブモードの選択を行うことができるので、1人がフライトを行う間に、他の人がジンバルをコントロールすることができます。マスターおよびスレーブコントローラー間は920MHｚ帯で通信を使用しています。コントローラーのLiPoバッテリーは約４時間の最大稼働を持ち、コントローラーに直接プラグを差し込むことで充電が可能です。

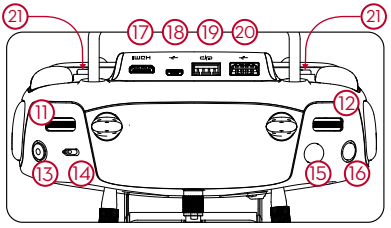


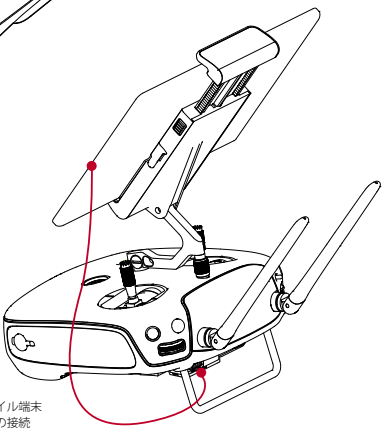
折り畳み

1. 電源ボタン
2. トランスフォーメーションスイッチ
3. リターントゥーホーム（RTH）ボタン
4. コントロールスティック
5. ステータスLED
6. バッテリー残量表示LED
7. 電源ポート
8. モバイル端末ホルダー
9. アンテナ
10. ハンドルバー



11. ジンバルダイアル
12. カメラセッティングダイアル
13. ビデオレコーディングボタン
14. フライトモードスイッチ
15. シャッターボタン
16. 再生ボタン
17. ミニHDMIポート
18. マイクロUSBポート
19. CANポート
20. USBポート
21. バックボタン





モバイル端末
との接続

*最大飛行速度および最大飛行時間は実験環境でのテスト結果に基づいています。これらの統計データはあくまで参照にすぎず、あなたの飛行環境によって異なります。

安全なフライトのために

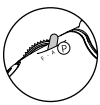
● コンパスキャリブレーション

新しい場所でフライトを行うたびにコンパスキャリブレーションを必ず行ってください。コンパスは電磁気の干渉にとても敏感です。電磁気の干渉がコンパスエラーを引き起こし、フライトパフォーマンスの低下や時には墜落という事態を招くことになります。安全運用の為にも、正しくキャリブレーションが行われる必要があります。次の時にはコンパスの再キャリブレーションを行ってください。a)機体ステータスインジケーターが赤と黄色に点滅している。b)新しい場所でフライトを行う。

- 磁鉄鉱、立体駐車場、および鉄筋コンクリート製地下室など、強い磁気の干渉がある場所でコンパスのキャリブレーションを行わないでください。
- キャリブレーションの最中に鍵や携帯電話など強磁性の物を携帯しないでください。
- 大きな金属製物体のとなりでキャリブレーションを行わないでください。
- フライトステータスLEDが赤く点灯している場合、再度キャリブレーションを行ってください。機体を地面に置いたあとにLEDが赤と黄色に交互に点滅している場合、コンパスは電磁気の干渉を検知しています。場所を変えてください。

● Pモード

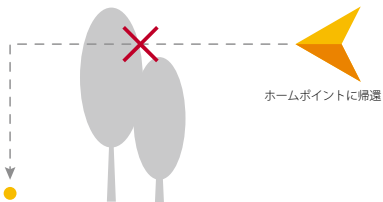
Inspire1はこのモードの時、強いGPSシグナルがあり、ビジョンポジショニングシステムを使うことで、屋内および屋外の正確な位置でホバリングさせることができます。また、屋外ではこのモードはホームポイントがロックされていることを意味し、コントロールシグナルを失った場合にリターントゥーホームすることができます。



このモードではない場合、フライトモードスイッチをPポジションに切り替えると有効になります。

フライトモードスイッチはデフォルトでPモードでロックされています。スイッチのロックを解除する方法については、ユーザーマニュアルを参照してください。

Pポジションには3つの状態があります。
P-GPS：GPSシグナルは屋外のひらけた場所でつよく受信することができます。Inspire1はGPSシグナルが強いときにGPSを使って所定の位置でホバリングします。
P-OPTI：GPSシグナルが無いとき、機体は正確にホバリングするためにビジョンポジショニングシステムを使用します。
P-ATTI：GPSおよびビジョンポジショニングシステムのどちらも有効ではない場合、機体は気圧センサーのみを使用するで、高度のみ保たれます。
Inspire1が水の上、明確なパターンのない地面の上、または暗い環境を飛行する場合、ビジョンポジショニングシステムが正常に働かないことがあります。



● リターントゥーホーム

GPSシグナルが強い場合、機体はホームポイントを記録し、必要な際はホームポイントに帰還することができます。DJIパイロットアプリのGPSシグナルアイコンが黄色または緑のときにGPS位置情報が記録されます。
次の場合において、機体はホームポイントに自動的に戻ってきます。(強いGPS信号が必要です。)
スマートRTH：リモートコントローラーまたはアプリのRTHボタンを押した時。
ローバッテリーRTH：バッテリー電圧が特定の閾値まで低下した場合、DJIパイロットアプリが必要な行動をとるように促します。フェイルセーフRTH：リモートコントローラーシグナルが失われたとき。

● ホームに帰還する間に、障害物を避けるためにユーザーは機体の高度を調節することができます。高層ビルがリモートコントローラーシグナルに影響を及ぼすことがあります。フェイルセーフRTHはリモートコントローラーのシグナルを失った時に作動します。衝突を避けるために、近くにあるビルよりも高いところを飛行してください。

● フライトリミット

Inspire1は法令で定められている飛行禁止区域を飛行することは許可されていません。
詳しい情報はこちらをご参照ください。http://flysafe.dji.com/no-fly

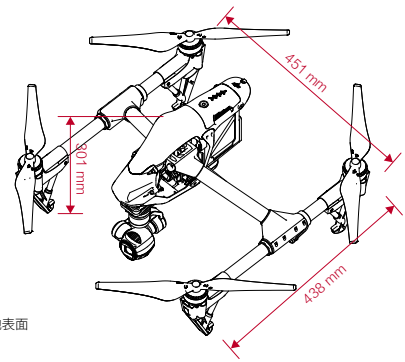
● 環境に関する考慮

1. 強風、雪、雨、および霧などの、きびしい気象条件下でのフライトはしないで下さい。
2. 開けた場所で飛行するようにしてください。高層ビル群や鉄骨製の物はコンパスやGPSシグナルの精度に影響を及ぼすことがあります。
3. 障害物、人混み、高圧電線、樹木、または川や池などを避けてください。
4. 携帯電話基地局や電波塔など、高レベルで電磁気を発する物の近くをフライト市内でください。干渉し操縦不能になる恐れがあります。
5. 機体やバッテリーの性能は、空気密度や温度などの環境要因で変化します。海抜14700フィート (4500メートル) 以上を飛行する際はバッテリーや機体性能が低下するのでご注意ください。
6. 極地ではPモードを使用したりGPSを使用する事は出来ません。ATTIモードおよびビジョンポジショニングを使用してのフライトは可能です。

付録

• 機体（モデル：T600）

重量（バッテリー込み）	2935 g
最大積載重量	3400 g
最大傾斜角度	35°
最大上昇速度	5 m/s
最大下降速度	4 m/s
最大速度	22 m/s (ATTIモード、無風時)
航行可能限界高度	4500 m
最大飛行時間	約18分
動作環境温度	-10℃—40℃



• ジンバル（モデル：ZENMUSE X3）

制御角度精度	±0.03°
操作可能範囲	ピッチ：-90° — +30°　パン：±320°
最大動作速度	ピッチ：120°/s　パン：180°/s

• ビジョンポジショニング

対応速度	8 m/s以下 (地上2mの時)
最高高度	5 cm—500 cm
動作環境	適正な明るさ (15ルクス以上)、模様のある地表面
認識高度	0 cm—250 cm

• カメラ（名称/モデル：X3/FC350）

センサー	Sony EXMOR 1/2.3" Effective pixels:12.4M (total pixels: 12.76M)
レンズ	FOV (視野角) 94°　20 mm (35mm format equivalent)　f/2.8
ISO レンジ	100—3200 (video) 100—1600 (photo)
エレクトロニックシャッタースピード	8 s—1/8000 s
最大サイズ	4000×3000
写真モード	シングルモード 連射モード: 連射3/5/7枚　ブラケット：3/5枚、0.7EVステップ タイムラプス
ビデオ録画モード	UHD (4K)：4096×2160p 24/25, 3840×2160p 24/25/30 FHD：1920×1080 p 24/25/30/48/50/60 HD：1280×720 p 24/25/30/48/50/60
最大書き込み速度	60Mbps
対応ファイル形式	FAT32/exFAT　写真：JPEG, DNG　動画：MP4/MOV (MPEG-4 AVC/H.264)
対応SDカードタイプ	Micro SD, Max capacity: 64GB. Class 10 or UHS-1 rating required
動作環境温度	0℃—40℃

• リモートコントローラー（名称：C1）

動作周波数	922.7 MHz—927.7 MHz　2.400 GHz—2.483 GHz
通信距離	2 km
出力ポート	USB、ミニHDMI
動作環境温度	-10℃—40℃
バッテリー	6000 mAh　LiPo 2S

• 充電器（モデル：A14-100P1A）

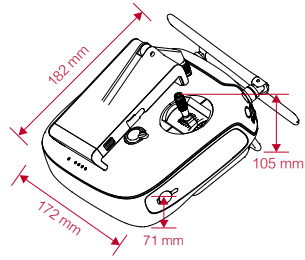
電圧	26.3 V
定格出力	100 W

• インテリジェントフライトバッテリー（モデル：TB47 標準）

容量	4500 mAh
電圧	22.2 V
タイプ	LiPo 6S
出力	99.9 Wh
重量	570 g
動作環境温度	-10℃—40℃
最大充電電力	180W

• インテリジェントフライトバッテリー（モデル：TB48 オプション）

容量	5700 mAh
電圧	22.8 V
タイプ	LiPo 6S
出力	129.6 Wh
重量	670 g
動作環境温度	-10℃—40℃
最大充電電力	180 W



CE 1313 RoHS

FCC ID：SS3-WM6101410　FCC ID：SS3-GL6581502
This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

※ クイックスタートガイドは告知なく変更となる事があります。

Inspire1の使用

Inspire1を初めてご使用になる場合は、DJIウェブサイトからビデオチュートリアルを視聴し、また次の資料に目を通してからフライトを行ってください。

Inspire1クイックスタートガイド、免責事項、インテリジェントフライトバッテリー安全ガイドライン、Inspire1安全ガイドライン、セット内容、Inspire1ユーザーマニュアル

1. DJIパイロットアプリのダウンロード

http://m.dji.net/djipilotまたはこのQRコードをスキャンしてDJIパイロットアプリをモバイル端末にダウンロードしてください。

DJI Pilot app

2. チュートリアルビデオの視聴

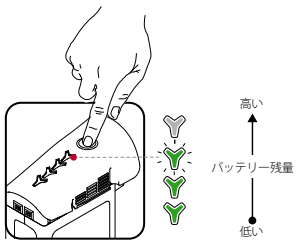
www.dji.comまたはDJIパイロットアプリからチュートリアルビデオを視聴することができます。

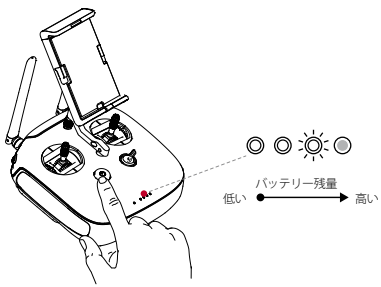
チュートリアルビデオ

- Inspire1の性能を発揮するため、下記デバイスを推奨します。iOS 8.0以上もしくはAndroid 4.1.2以上。
- 詳細に関しては、DJIパイロットアプリかDJI公式サイトにあるユーザーマニュアルをご参照ください。

3. バッテリー残量の確認

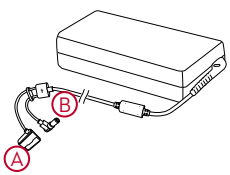
インテリジェントフライトバッテリーとリモートコントローラーの電源ボタンを一度押し、バッテリー残量を確認してください。初回使用時には必ずフル充電してある必要があります。どちらのバッテリーも飛行前に適切に充電されている必要があります。
インテリジェントフライトバッテリーとリモートコントローラーは電源ボタンを一度押し、続けてもう一度押して2秒押し続けることで電源が入ります。同じようにして電源を切ることが出来ます。

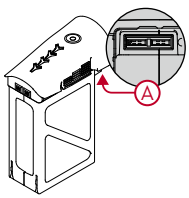


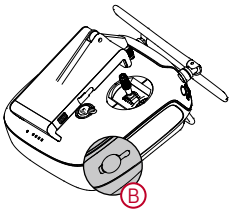


4. 充電

- インテリジェントフライトバッテリーとリモートコントローラーは必ずDJI Inspire 1専用の充電機をご使用ください。
- インテリジェントフライトバッテリーとリモートコントローラーを充電する際には、100V-240V、50/60Hzの電源へ繋いでください。
- 充電前にバッテリーの電源を切ってください。
- インテリジェントフライトバッテリーとリモートコントローラーは同封されている充電器をご使用ください。満充電になった際、LEDが消灯します。

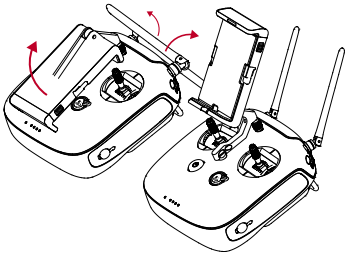


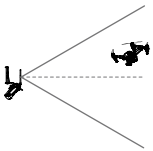




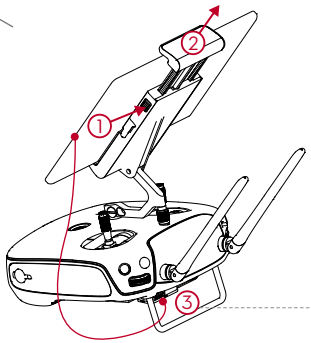
5. リモートコントローラーの準備

モバイル端末ホルダーをお好きな位置に傾けて、アンテナを図が示すように調節してください。アンテナの位置によってリモートコントローラーのシグナルの強さが変わります。

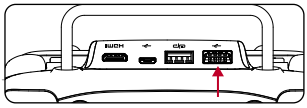




機体とリモートコントローラーの間の送信シグナルは最適送信範囲内にある時に最大のパフォーマンスを発揮します。シグナルが弱い場合、機体をリモートコントローラーに近づけると最適なシグナルパフォーマンスを得ることができます。



① クランプを解除するためにモバイル端末ホルダーの横にあるボタンを押してください。
② モバイル端末をクランプに置いて、クランプを調節してモバイル端末をしっかりと固定してください。
③ USBケーブルを使ってモバイル端末をリモートコントローラーに接続してください。ケーブルの一方をモバイル端末に接続し、もう一方をリモートコントローラーの後ろにあるUSBポートに接続してください。



2パイロットのInspire1を購入した場合、電源をオンにするとマスターリモートコントローラーは機体に自動的に接続されます。マスター／スレーブモードは初期設定で無効になっています。DJIパイロットアプリからこのモードを有効にし、設定を行ってください。マスターリモートコントローラーのステータスLEDは機体に接続されると緑色に点灯します。スレーブリモートコントローラーのステータスLEDはマスターリモートコントローラーに接続されると青く点灯します。

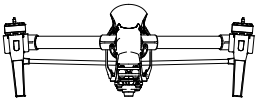
マスターリモートコントローラーをスレーブリモートコントローラーに接続する：
マスターリモートコントローラーでDJIパイロットアプリを起動し、カメラページに進んでください。リモートコントローラー設定画面にすすむために、スクリーン上部の をタップしてください。「マスター／スレーブ」をタップし、「マスター」を選択してください。「スレーブ」リモートコントローラーの接続パスワードを決めるために、お好きなパスワードを入力してください。
スレーブモードコントローラーで、「スレーブ」を選択し、マスターリモートコントローラーを見つけるために「サーチ」をタップしてください。「マスターRCリスト」から「マスター」リモートコントローラーを選択し、接続パスワードを入力してください。

- 電波干渉を避けるために、他の2.4GHz端末を同時に使用しないでください。

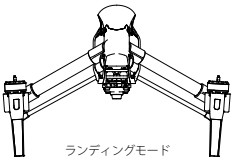
---

6. 機体の準備

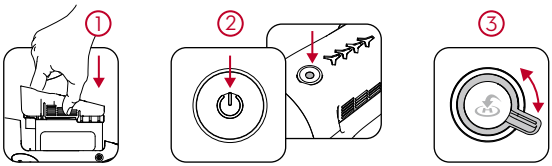
機体は出荷時にトラベルモードになっています。初回フライトの前に次のステップにしたがって着陸モードに変更してください。
① インテリジェントフライトバッテリーを所定の位置に取り付けてください。
② リモートコントローラーおよびインテリジェントフライトバッテリーの電源を入れてください。
③ トランスフォーメーションスイッチを上下に４回以上動かしてください。この動作を繰り返すことで再びトラベルモードに変更できます。
ジンバルおよびカメラを取り付ける前に機体の電源をオフにしてください。



トラベルモード



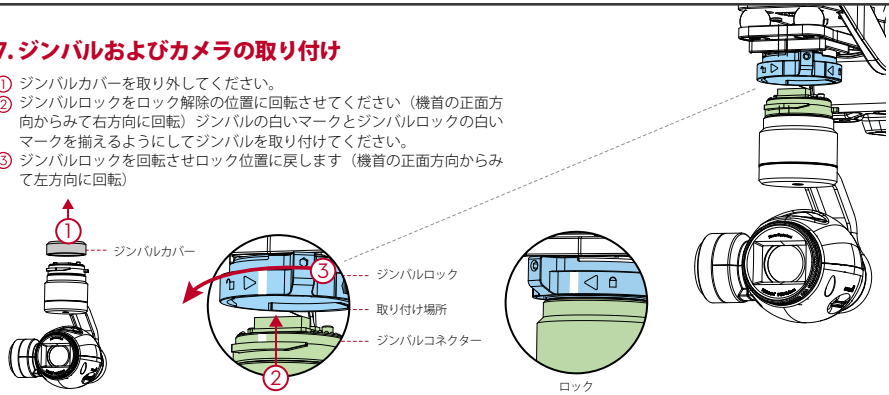
ランディングモード



- パイロットバージョンを購入した場合、マスターリモートコントローラーを使ってトラベルモードを無効にしてください。

7. ジンバルおよびカメラの取り付け

① ジンバルカバーを取り外してください。
② ジンバルロックをロック解除の位置に回転させてください（機首の正面方向からみて右方向に回転）ジンバルの白いマークとジンバルロックの白いマークを揃えるようにしてジンバルを取り付けてください。
③ ジンバルロックを回転させロック位置に戻します（機首の正面方向からみて左方向に回転）

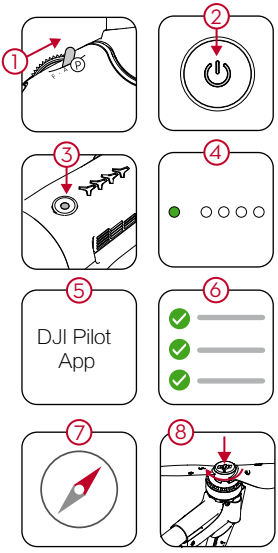


8. フライトの準備

機体を開けた場所の平らな地面に、バッテリーのインジケーターが操縦者側に向くように置きます。

① フライトモードスイッチを右側に入れてPモードを選択してください。（Pモードはポジショニングモード、AモードはATTIモード、Fモードはファンクションモードです。）
② リモートコントローラーの電源をオンにしてください。
③ 機体の電源を入れ、セルフチェック完了まで待つ。その間、機体を動かさないでください。
④ フライトの前にリモートコントローラーが機体とリンクしていることを確認してください。接続に失敗した場合はリモートコントローラーと機体を再度リンクさせてください。詳しくはInspire 1 ユーザーマニュアルのリンクの方法を参照してください。
⑤ リモートコントローラーとモバイル端末がUSBケーブルで接続されていることを確認してください。初回に機体と接続する場合、DJIパイロットアプリを起動し、アプリの指示にしたがってください。
⑥ DJIパイロットアプリを起動し、「カメラ」をタップしてください。チェックリストを使って機体が正常に機能していることを確認してください。DJIパイロットアプリを初めて起動する場合、初心者モードが初期設定で有効になっています。機体の高度およびフライト距離が初心者モードによって制限されます。初めて機体を使用する場合は、初心者モードでフライトすることをお薦めします。DJIパイロットアプリの設定ページから初心者モードを解除することができます。
⑦ コンパスキャリブレーション：「モード」をタップし「コンパスキャリブレーション」を選択してください。その後、画面上の指示にしたがってください。
⑧ 1345s型プロペラの取り付け方法：白い点のあるキャップのついたプロペラを白い点のあるモーターへ取り付けます；白い点のないキャップのついたプロペラを白い点のないモーターへ取り付けます；プロペラをモーター軸の底まで押し込み、閉方向に止まるまでプロペラを回します、手を離せばプロペラがバウンドしてロックされます。プロペラがしっかりロックされていることを確認してください。

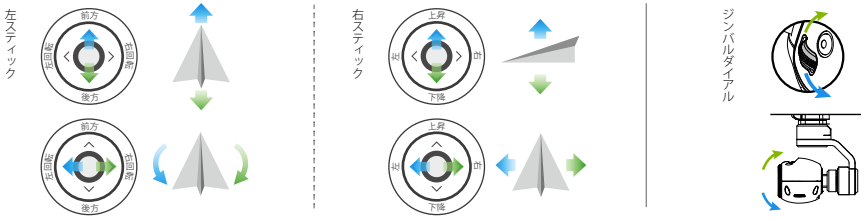
1345型プロペラの取付け方法：黒いキャップのついたプロペラを黒い点のあるモーターに取り付けて反時計回りに回して固定します、グレーのキャップのついたプロペラをグレーの点のあるモーターに取り付けて時計回りに回して固定します。飛行前に必ずプロペラが正しいモーターの上にセットされているかを確認してください。



- Pモードではない場合、Inspire1は高度のみ維持します。場所は維持しません。風やユーザーの入力により機体が流れることがあります。リターントゥーホームはFモードでは使用できません。

9. リモートコントローラーの操作

リモートコントローラーは出荷時はモード1に設定されています。（スロットルは右側のスティックでコントロールします）
ジンバルダイアルを使ってカメラのチルト操作を行います。



- DJIパイロットアプリを使って、リモートコントローラーを異なるモードに設定することができます。

10. フライト

安全飛行,GPS信号の安定性

離陸する前に、DJIパイロットアプリの機体ステータスバーが「安全飛行（GPS）」を表示していることを確認してください。表示されていないとき、機体は特定の場所でのホバリングやホームポイントの記録をすることができません。

● 自動離陸／自動着陸

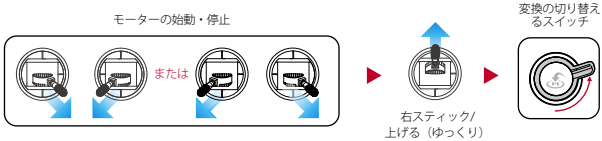
（DJIパイロットアプリのカメラ画面内）

をタップし、認証してください。自動離陸をタップすると、機体は自動的に離陸し、ランディングスキッドを上げ、1.5メートル上空でホバリングを始めます。

をタップし、認証してください。ランディングスキッドが下がり、機体は自動的に着陸します。

● 手動での離着陸

モーターを起動するとき、 同時に両方のコントロールスティックを斜め下の内側または外側に引いてください 。離陸するために、右（スロットル）スティックをゆっくりと押してください。空中でトランスフォーメーションスイッチを押し上げるとランディングスキッドが上がります。



機体を降下させるために、機体が地面に接するまでゆっくりと右（スロットル）スティックを引いてください。モーターを停止させるために、両方のコントロールスティックを斜め下の内側に引いてください。
機体を平坦な面に置き、持ち運ぶためにジンバルとカメラを取り外してください。フライト後は機体をトラベルモードに変更してください。この作業は、ビーチ、草、単色のカーペットの上では行わないでください。

- 機体ステータスバーが緑のときにのみ離陸することを強くお薦めします。
- 致命的なローバッテリー警告が出ている時、機体は離陸することができません。
- 気温が低い場合、必ずインテリジェントフライトバッテリーをウォームアップしてください。DJIパイロットアプリに警告が表示されます。
- プロペラの回転中はとても危険です。近くに人がいるときにモーターを始動しないでください。また、常に広い場所でフライトを行ってください。
- フライト中にモーターを停止しないでください。着陸後、リモートコントローラーの電源をオフにする前に、機体の電源をオフにしてください。

● リターントゥーホーム

1. ボタンの周りのLEDが白く点滅するまでリターンホームボタンを長押しすると、リターントゥーホームを開始します。もう一度押すと停止します。
2. バッテリーレベルが特定の閾値まで低下すると、DJIパイロットアプリがユーザーに何らかの行動をとるように通知します。この警告閾値はDJIパイロットアプリから設定することができます。致命的ローバッテリーレベル警報に達するとすぐに機体は着陸します。
3. フェイルセーフ：リモートコントローラーがシグナルを失ったとき、Inspire1はRTHモードに入ります。

- リターントゥーホームの間、障害物を避けるためにユーザーは機体の高度を調節することができます。

付 録

機体ステータスインジケーターの説明

- ゆっくり：安全飛行できます。GPS有効
- X2 ダブル：ビジョンポジショニングシステムが稼働中。GPSなし
- ゆっくり：P-ATTIまたはATTI
- 速い：リモートコントローラーがリンクされていない
- ゆっくり：ローバッテリーレベル警報
- 速い：致命的ローバッテリーレベル警報
- 点灯：致命的エラー
- 交互に点滅：コンパスキャリブレーションが必要

リモートコントローラーステータスLED

- リモートコントローラーはマスターモードで、機体に接続されていません。
- リモートコントローラーはマスターモードで、かつ機体に接続されています。
- リモートコントローラーはスレーブモードですが、機体に接続されていません。
- リモートコントローラーはスレーブモードで、かつ機体に接続されています
- B-B-B... 機体低バッテリー警報またはリモートコントローラーエラー
- B—B—... リモートコントローラーは5秒間アイドリング状態

カメラの使い方

- リモートコントローラーのカメラ設定ダイアルまたはDJIパイロットアプリを通じてカメラパラメーターを設定することができます。シャッターボタン/ビデオレコードボタンを押して写真、映像撮影をします。
- カメラダイアルを使ってジンバルの傾きを調整してください。
- DJIパイロットアプリを通じてSDカードから写真やビデオをダウンロードしてください。SDカードリーダーを使ってファイルをPCに書き出すことができます。

©2014 DJI. All Rights Reserved
Designed by DJI. Printed in China.

インフォメーション

www.dji.com/product/inspire-1

INSPIRE 1

Creativity Unleashed